

塙先生顕彰祭にご参加ください

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会では毎年、先生の命日である9月12日に祭壇に飾られた塙先生の遺影に対し来場者全員で菊の花を捧げ、遺徳を偲ぶ顕彰祭を開催しています。

本年も下記のとおり開催いたしますので、ぜひご来場ください。会員以外の方もご参加いただけます。ご来場お待ちしております。

日 時 9月12日(木)
午後1時30分 受付
午後2時 開式

内 容 主催者・来賓による献花
来場者全員による献花
講 演



(当日の講演は、スライド映写をご覧いただきながら説明いたします。ぜひお聴きください。)

演 目 塙保己一先生と「小笠原島」
講演者 田中 学 氏
(顕彰会事業部会委員)



昨年の顕彰祭の様子

内容等を変えて

自治会勉強会(塙先生講座)が今年も開催されます

平成23年度に始まり自治会ごとに開催された自治会勉強会(塙先生講座)において、顕彰会では事業部会委員を講師として派遣、協力し、平成24年度末まででほとんどの自治会を廻り、塙先生の業績について説明を行ってきました。この間に受講された市民は1,327人に及びます。参加された方からは、アンケート等により様々な意見や好評をいただいております。



以前の講座の様子

本庄市自治会連合会では、今までの自治会勉強会の効果・実績をふまえつつ、今後も郷土の偉人である塙保己一先生の遺徳を周知して郷土の活性化を図るため、従来からは内容等を変更しつつ平成25年度から自治会勉強会を行うことになりました。顕彰会では、この事業にも協力し、事業部会委員が主となって説明内容の改良、そして勉強会での説明を行う予定です。

今後、みなさまの地元での講座開催の際には、ぜひご参加ください。

「令義解」

りようのぎげ

巻八 医疾令 第二十四

近代で日本初の女医誕生の きっかけとなった文献

文・顕彰会事業委員

長谷川典明

大分前の話になりますが読売新聞に「妻沼町が『令義解』購入」との見出しで次のような記事がありました。

「我が国初の女性医師、荻野吟子（一八五一〜一九一三）が女医となる門戸を開かせるきっかけとなった古本『令義解』十巻を、吟子の出身地の妻沼町が購入した。同書は、児玉町出身の江戸時代の国学者、塙保己一（一七四六〜一八二一）が校正、出版した平安時代

代の法律注釈書。東京都内の古書店が先月入手したものを、町が公費（四万八千円）で買い、『県内の歴史的著名人二人を結びつけた貴重な史料』として、町立展示館と図書館で公開展示している。

（中略）伝記などによると、荻野吟子は医師を目指して上京し、医学校に学んだが、『女医の前例がない』との理由で医業開業試験の

受験を拒否された。絶望の中、吟子は、かつて学んだ『令義解』に『女医』の記載があったのを思いだした。それが文献上の根拠となり、免許の受験規則が改正され、一八八五年（明治十八年）に試験に合格した。――

今回は荻野吟子の女医への道を拓いたといわれる「令義解」について調べたいと思います。

【本文】巻八 医疾令第二十四

女医取官戸婢・年十五以上・廿五以下・性識慧了者三十人・別所安置・教以安胎産難・及創腫傷折・針灸之法・皆案文口授・毎月医博士試・年終内薬司試・限七季成・



【訳】女医は官戸・婢の年齢十五歳以上二十五歳以下の知性秀でた人三十人を採用して、別所に安置して、産科、及び創腫、傷折、針灸の法を教えること。

経文に依拠して（諸博士が）口授（事物を読ませず口頭で授ける）すること。毎月、医博士が試験すること。年末に内薬司が試験すること。七年を期限として修養させること

【奥書】巻八

右倉庫医疾二令散逸久矣今抄続日本紀類聚三代格政事要略令集解等所引集而編之雖不能復古本可以見其概也

巻十

右令義解十卷以紅葉山御文庫古本、水戸殿校本、松浦家岩城家及稲葉通邦藏本校正畢
寛政十二年十二月日

検校 塙保己一

【解説】

「令義解」は「養老令」の公的注釈書（天長十年・八三三成立）。後世になつて散逸していたものを、塙保己一が収集・校正し、一八〇〇年（寛政十二年）に出版したものです。これは「群書類従」には含まれていません。各冊はそれぞれ一巻を収めて全十冊です。奥書によると慶安三年蓬生菴林鶴の刊行せる所謂京本を底本として、之を紅葉山文庫本、水戸家校本、松浦、岩城、稲葉通邦らの蔵本等によつて校訂。特に巻八の倉庫、医疾の二令は、失われている

たものを続日本紀、類聚三代格、政事要略、令集解等より補つて再生されたものと記されています。先の妻沼町広報では「県ゆかりの人物、塙保己一（国学者・児玉町）と荻野吟子（女医・妻沼町）、時代も活躍した時期も異なり、無縁のような二人を目に見えない糸のように結び付けたものが、保己一が心血を注いで校正・出版した養老律令の注釈書『令義解』という書物だった。」とあります。

ところで女医第二号は、地方医療の普及に貢献した生沢クノ（一八六四〜一九四五・深谷市出身）である。明治二十年に父・長安が開業している寄居町を初診地に選び、その後、請われて児玉郡八幡山町や川越で分院を開き、定期的に出張診療を行ったそうです。己一が収集・校正し、一八〇〇年（寛政十二年）に出版したものは八幡山のどこで分院を開いたのかは不明です。（ご存知の方がありません。各冊はそれぞれ一巻を収めて全十冊です。奥書によると慶安三年蓬生菴林鶴の刊行せる所謂京本を底本として、之を紅葉山文庫本、水戸家校本、松浦、岩城、稲葉通邦らの蔵本等によつて校訂。特に巻八の倉庫、医疾の二令は、失われている

本庄市塙保己一記念館にある資料紹介

寛政七年（一七九五）温故堂塾中法度

文・顕彰会事業委員 荒井一夫

『和学講談所』は公的名称であるのに対し、『温故堂』は私的な塙検校の私塾でありました。ここに入出入りする門弟には「和学の教授」を受けるだけの者と教育を受けながら調所の助手を勤める者があり、寄宿生（塾生）もいれば通学生もいました。これは、そこでの塾則であります。創設当初から、塾生に対して、清潔感、先生に対する礼儀の遵守、学問への取り組み姿勢などを求めていることが窺えます。

（上写真の文言）

温故堂塾中法度

- 一 毎朝六時起きうかい手水
- いたし餐付、塾中ハ勿論
- 十畳二間・四畳間・玄関掃除之、袴着用いたし先生
- 夫婦の機嫌を伺、居所
- 正しく可有之、夜四時又
- 機嫌を伺休息可致事
- 一 毎朝毎夜六時より四時
- まで先生用向可承、昼
- 四時より暮六時まで自分
- 稽古可励事
- 附、玄関取次番二可
- 勤事
- 一 会日者定式之会業出
- 精可致事

寛政七

正月 日

会 頭

（上記文言の解説）

温故堂塾中法度

- 一 毎朝六時に起き、うがい
- 手洗いをし、髪を整え、
- 塾にいてはもちろん十畳
- 二間・四畳間・玄関を掃
- 除し、袴を着用して、先
- 生夫妻の様子を伺い、居
- 場所を正しく理解してお
- く、午後四時には様子を
- 伺ってから休むこと
- 一 朝夕毎日六時から四時
- まで先生に伺い用事を承
- ること、午後四時から夕
- 方六時まででは自分の稽古
- （修学）に励むこと
- なお、玄関での取次を
- 交代で勤めること
- 一 定められた講談会の日に
- はそちらで精を出すべき
- こと

寛政七

正月 日

会 頭

25年度も塙先生顕彰会の会員として継続してご協力いただけますようお願い申し上げます。

みなさまからの貴重な会費は、没後195周年に建立予定の塙先生の銅像の作成費用や毎年9月12日に塙先生に菊の花を捧げ遺徳をしのぶ顕彰祭のため、また、その他の啓発活動に使用させていただきます。

まだ継続手続きをされていない方は会費の納入をお早めをお願いいたします。

みなさまのご協力をなにとぞよろしくお願いいたします。

年会費 個人会員 一口 千円、 賛助会員（団体） 一口 一万円

入会と会費納入の受付場所 本庄市生涯学習課(中央公民館)と本庄市児玉文化会館(セルディ)で受け付けています。 本庄市役所4階文化財保護課では、平日にお預かりします。

※ 郵便振替でも申し込みできます（ご希望の際には、下記へご連絡ください）。



発 行 総検校塙保己一先生遺徳顕彰会

事務局 本庄市教育委員会 生涯学習課 本庄市児玉文化会館（セルディ）内

所在地 367-0216 埼玉県本庄市児玉町金屋728-2

電 話 0495-72-8851 FAX 0495-72-8854

※点訳ボランティアグループ「ほきの六点会」の皆様により会報誌の点字翻訳版を作成していただきました。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

そうけんぎょう はなわ ほきいち せんせい いとくけんしょうかい

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会 会報誌

第17号

平成25年9月発行



9月12日は塙先生の命日です —— ぜひ顕彰祭にお越しください

ごあいさつ

日中の暑さは盛りながらも朝夕には虫の声が心地よい季節となりました。

会員のみなさまには、暑さに負けず日々ご健勝でおられることを祈念いたしております。みなさまには日頃より当顕彰会へのご支援・ご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。また、今年度、自治会をはじめ各種団体の多くの皆様に顕彰会へご加入いただいておりますこと、心より感謝いたします。

さて、顕彰会の顕彰活動のご報告ですが、塙先生の功績を知っていただくため、23・24年度には自治会ごとに開催された勉強会の場合へ講師を派遣してまいりました。今年度も本庄市自治会連合会において従来と内容等を変えた形で塙先生の事績を知っていただく勉強会を開催される予定とのことですので、顕彰会としても協力させていただく予定です。

また、来たる9月12日の塙先生の命日には、セルディを会場に顕彰祭を開催いたします。多くの方々のご参加をお待ちしております。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会

会長 吉田 信 解